



LIXIL リシェント 浴室開きドア 取付け説明書

- 取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に取付けてください。
- 本取付け説明書では、新しく取付ける製品をリシェント枠・ドアと記載しています。

■守っていただきたいこと

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

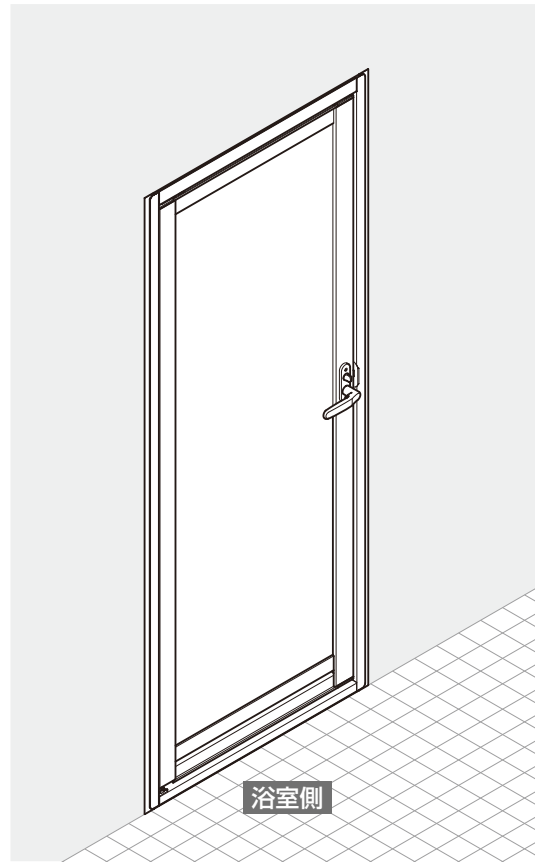
▲注意



- 切断部でケガをするおそれがあるため、下記事項をお守りください。
 - ・切断部はバリ取り、R取り(コーナ部)をしてください。
 - ・フィン端部を覆うようにシーリングをしてください。



- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・既設枠にあいた穴は完全にふさいでください。
 - ・パッキンが破損するため、穴あけはリシェント枠から直接行わないでください。



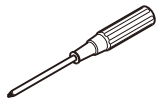
※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	切断時にバリ取り、R取りはしましたか？	<input type="checkbox"/>
2	スペーサーを入れ、枠の水平・垂直がとれていることを確認しましたか？	<input type="checkbox"/>
3	既設枠の穴あけは、リシェント枠を外してから行いましたか？	<input type="checkbox"/>
4	使用ねじの長さに合わせて深さで下穴はあけましたか？	<input type="checkbox"/>
5	指定個所(取付けねじ穴、既設枠とリシェント枠との間)にすべてシーリングはしましたか？	<input type="checkbox"/>

■使用工具一覧表

製品固定

プラスドライバー



コーキング

コーキングガン

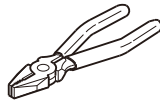


既設枠の部品とフィンの除去

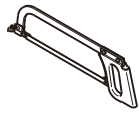
カッター等



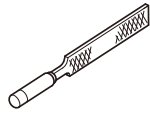
プライヤー等



鉄のこ

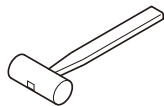


鉄工ヤスリ



取付け穴あけ

金づち等

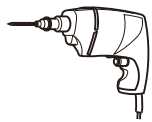


ポンチ

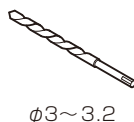


φ4以下

電動ドリル



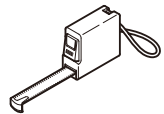
ドリル刃



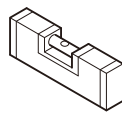
φ3~3.2

各寸法の確認

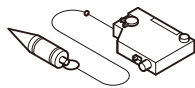
スケール



水準器



下げ振り



■施工に使用する別途手配品

シーリング材



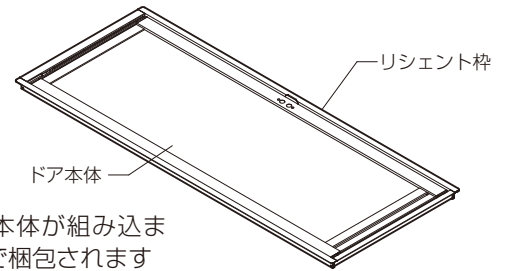
防カビ入り

気密・防水テープ



※シーリング材は浴室で使用可能な1成分形シリコーン防カビ入りを使用してください。

■梱包内容



※枠にドア本体が組み込まれた状態で梱包されます

㊦		㊩	
上枠取付けねじ トラスタッピンねじ 3本	縦枠取付けねじ 皿タッピンねじ 10本		
【既設枠内付け/UB】 M4×30	【既設枠外付け】 M4×20	【既設枠内付け/UB】 M4×30	【既設枠外付け】 M4×20

※現場の納まりに応じてねじ長さを選択してください。
※ねじ長さが不足している場合は、別途現場手配してください。

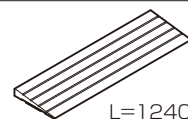
㊧		㊨	
50 10 スペーサー t=1 30枚 ※穴は使用しません	30 12 スペーサー t=2 30枚		
㊪	㊫		
30 7 スペーサー t=4 10枚	バックアップ材 L=1000 8本		
取付け説明書			

【ハンドルセット】

レバーハンドル	台座
㊬	㊭
台座取付けねじ 皿小ねじ M4×16 2本	ハンドル取付けねじ なべ小ねじ M4×12 2本

■別途有償品

下枠段差緩和材



L=1240

・6×38mm
・12×38mm
・6×55mm
・20×55mm

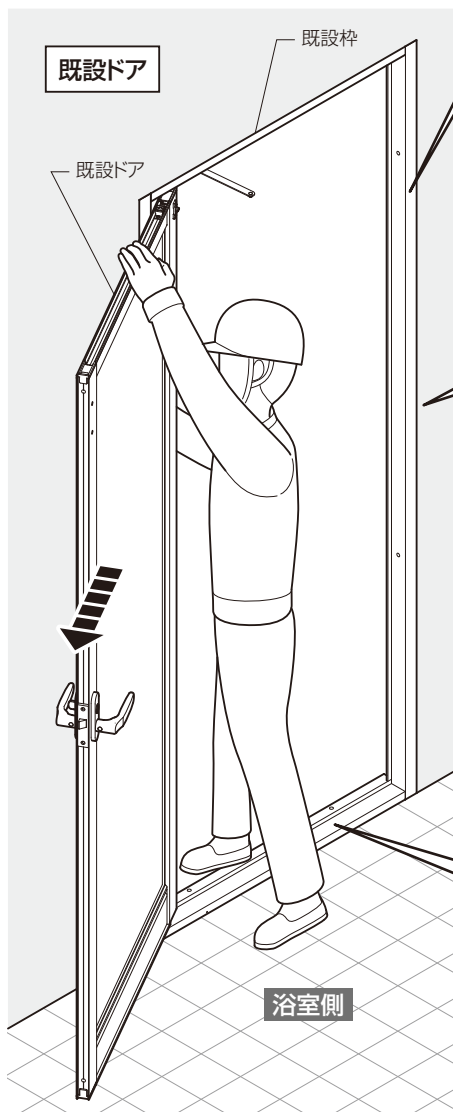
I 既設ドアへの事前準備

▲ 注意

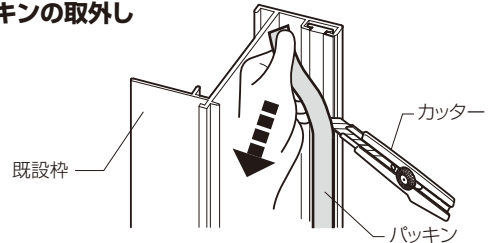


● 既設枠にあいた穴は完全にふさいでください。漏水の原因となります。

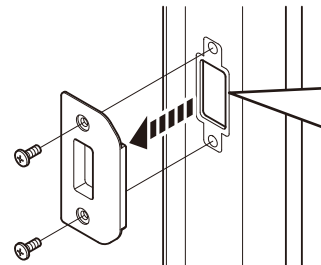
- ① 既設のドア本体を取外してください。
- ② 既設枠に付いている、すべての部品、部材を取外してください。
- ③ 部品を取外した穴を防水テープまたはシーリングで完全にふさいでください。



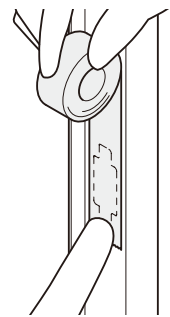
パッキンの取外し



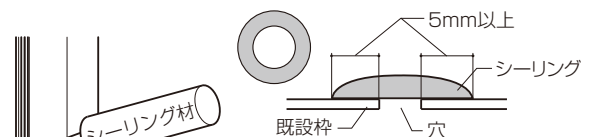
部品の取外し



加工穴への防水処理



(穴を中心に均等にシーリング)



(片寄ったシーリング)



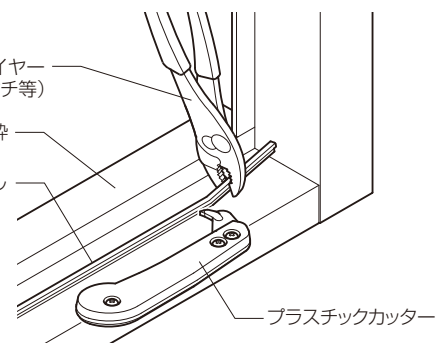
下枠レールの取外し

※必要に応じて

プライヤー
(ベンチ等)

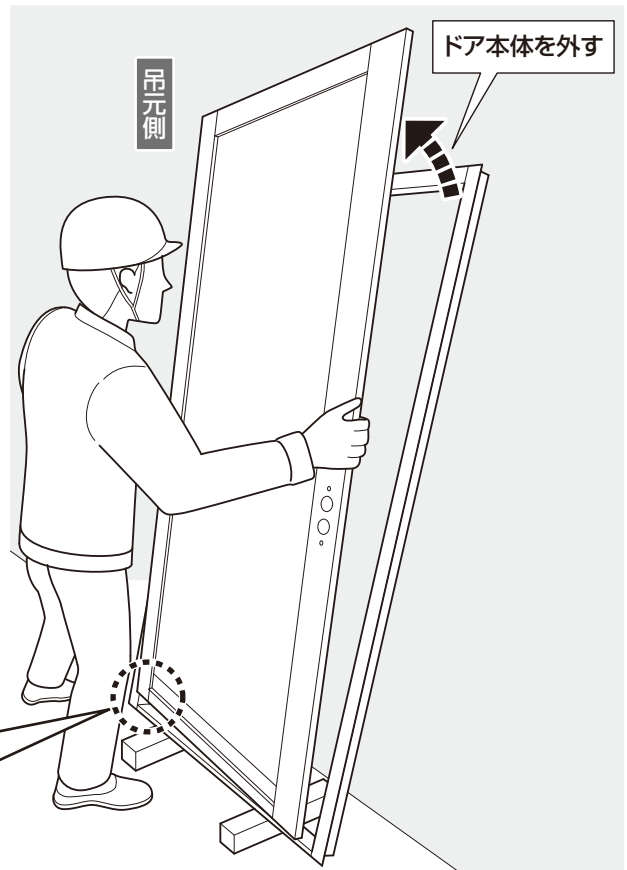
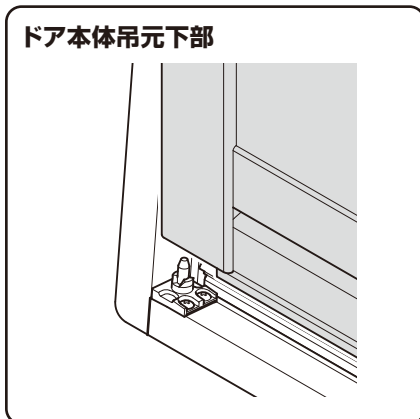
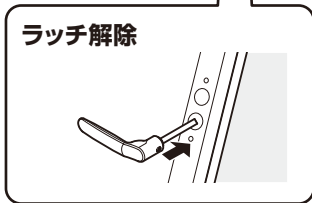
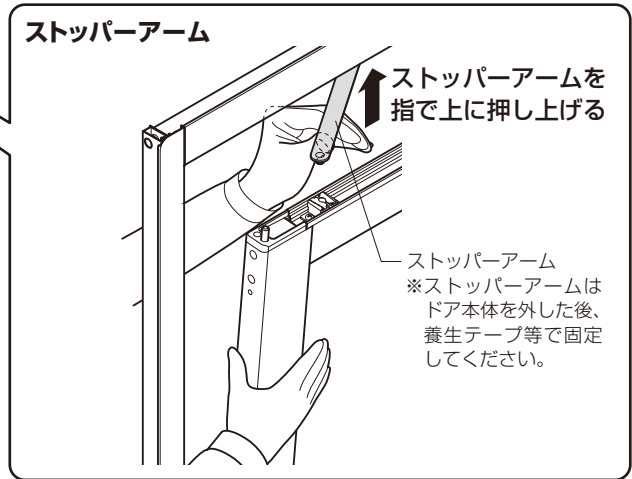
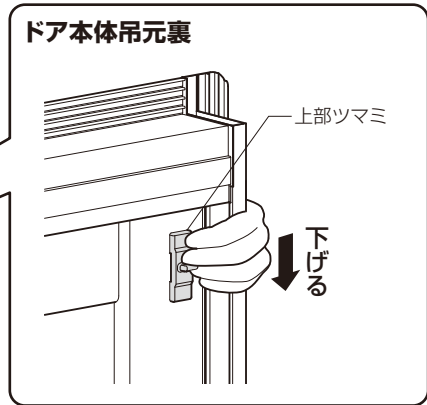
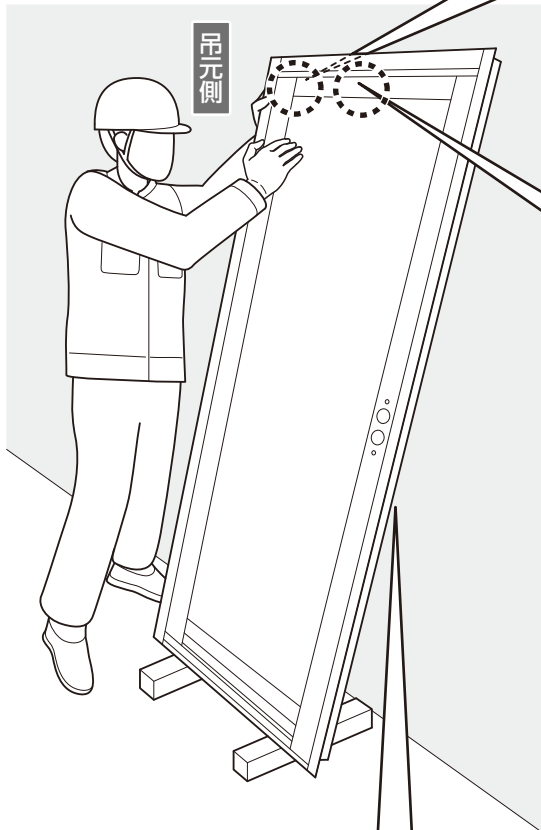
既設枠

レール



2 リシエントドア本体の取外し

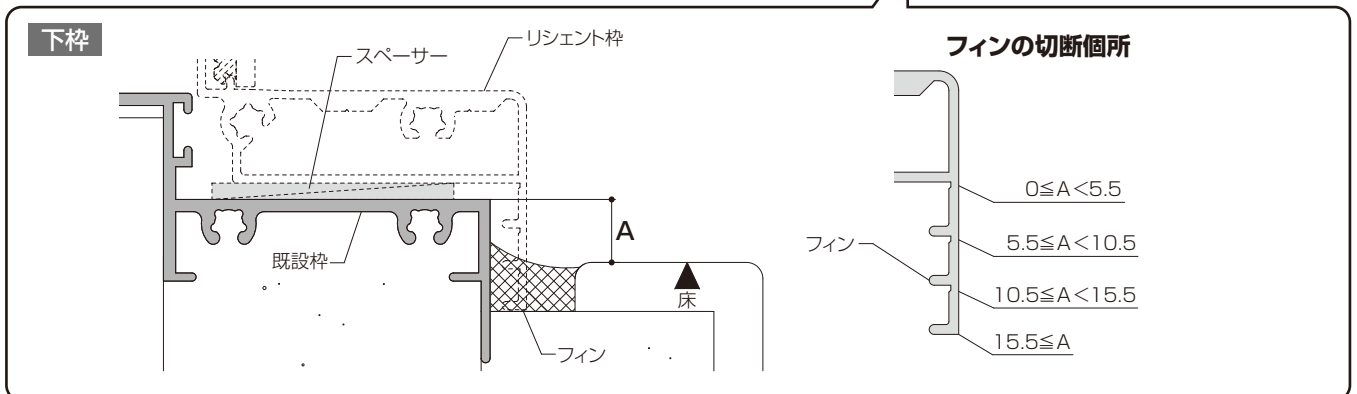
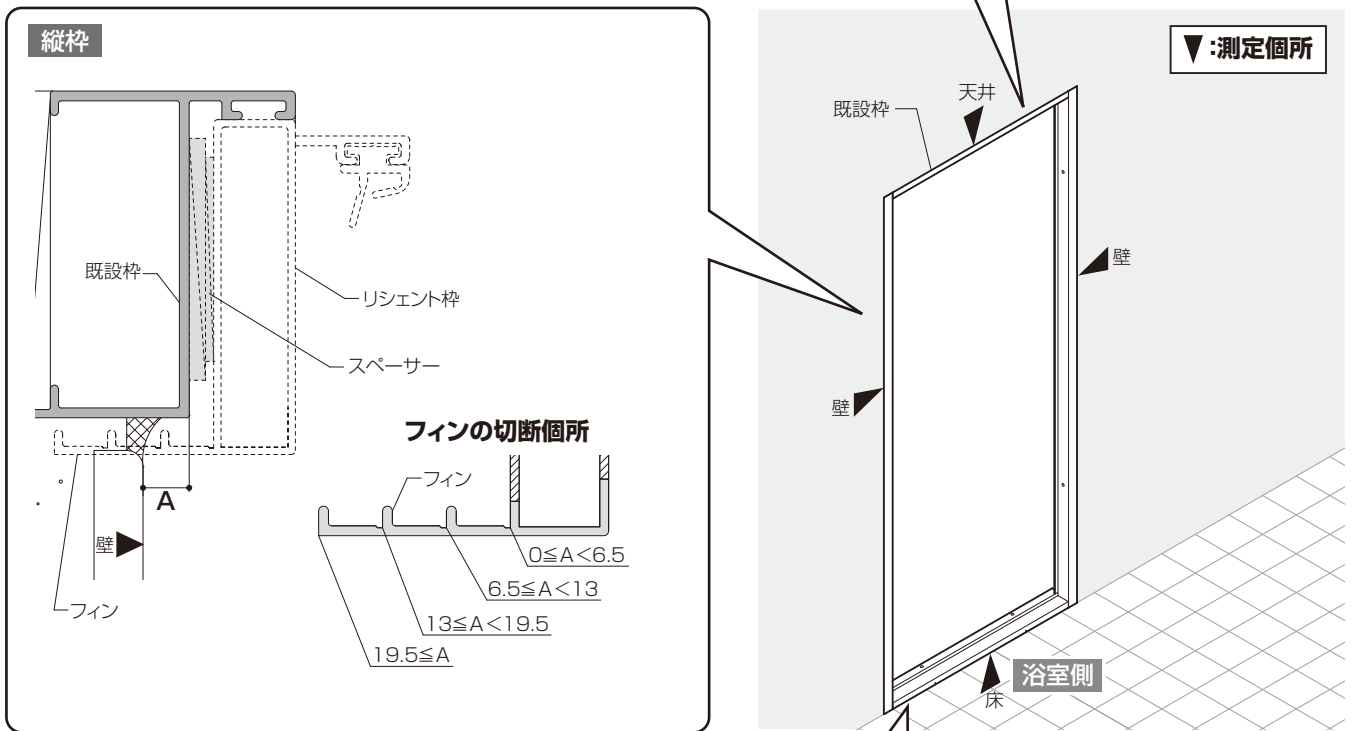
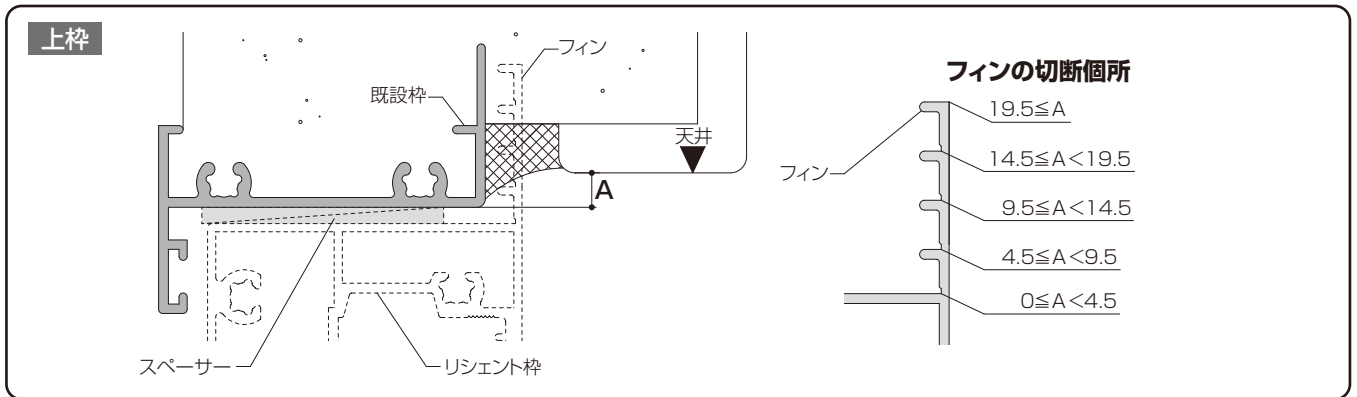
- ① 脱衣室側になる面を壁側にして立てかけてください。
- ② 角芯付きレバーハンドルを差込み、ラッチを解除しドア本体を開いてください。(ラッチ解除後はレバーハンドルを抜いてください。)
- ③ ドア本体を手前に倒し、ストッパーアームを上押し上げてドア本体を枠から外してください。
- ④ ドア本体を傾け、上に持ち上げて吊元下部を外してください。



3 リシェント枠の干渉確認

Aの箇所を測定し、フィンの切断箇所を確認してください。

A：既設枠内側の面から天井・壁・床などまでの距離



4 リシェント枠のフィン切断・R取り

▲ 注意



- 切断部は、バリ取り、R取り(コーナー部)をしてください。切断部でケガをするおそれがあります。

リシェント枠のフィン切断・R取り上のお願

- 部材がひずむため、一度で折り曲げたり無理に曲げないでください。(固い場合は再度切込みを入れる)
- アルミ表面が焼けてしまうため、サンダーや電のこ等で切断しないでください。

- ①リシェント枠のフィン裏側の溝にプラスチックカッター等で切込みを入れてください。
- ②フィンをプライヤー等で何段階かに分けて折り曲げ、切断してください。
- ③上下枠のフィンを切断する場合は、縦枠部分を鉄のこで切断し長さを合わせてください。
- ④コーナー部を切断する場合は、R取りをしてください。

フィンの切断方法

Point!

1 段目

2 段目

3 段目

何段階かに分けて曲げる

プライヤー
(ペンチ等)

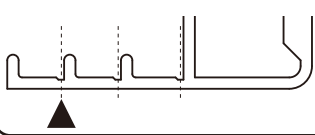
6~8cm間隔で
折り曲げ

厚みの6割以上
切込む

R取り



フィン断面図



プラスチックカッター

フィン

浴室側

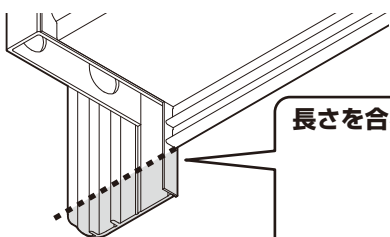
脱衣室側

フィン

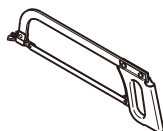
フィン

フィン

上下枠フィンを切断したとき



長さを合わせて鉄のこで切断

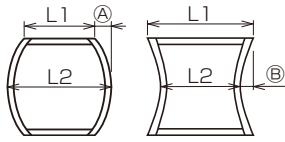


5 リシェント枠の取付け準備(スペーサー取付け)

スペーサー取付け上のお願い

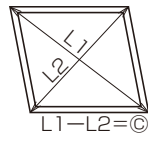
●性能を確保するため、リシェント枠は下記寸法内で取付けしてください。

■枠のフレ・ツツミ



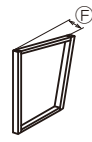
L2-L1	A	L1-L2	B
3	1.5	3	1.5

■枠対角差



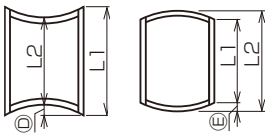
C
3

■枠のねじれ



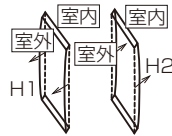
F
2

■下枠の内反り・外反り



L1-L2	D	L2-L1	E
3	2	3	1.5

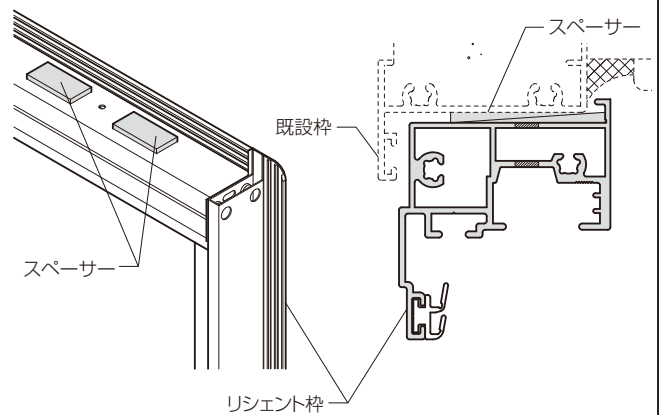
■枠の室内外の反り



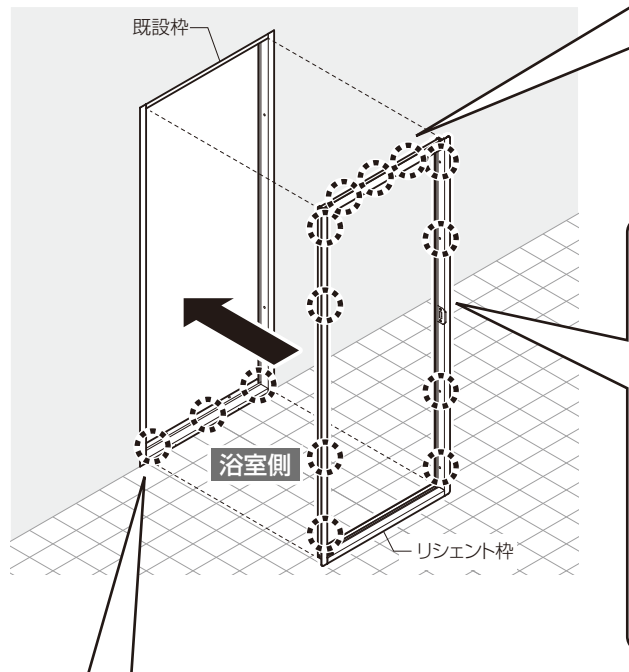
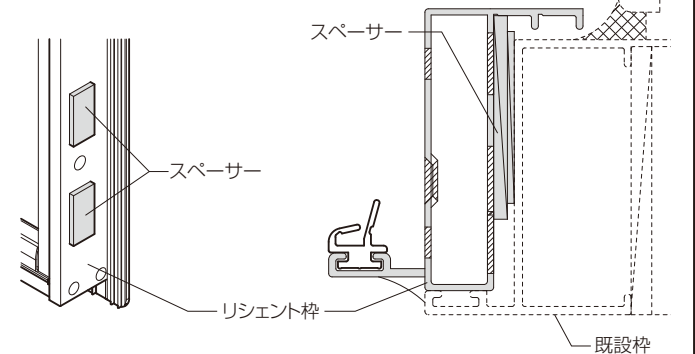
H1	H2
1	1

- ①リシェント枠の上枠、縦枠のねじ穴の両端付近にスペーサーを貼付けてください。
- ②既設枠の下枠3個所にスペーサーを貼付けてください。
(厚みは重ねて調節してください)
※レールがある場合は、レールの高さ分のスペーサーをレールの両脇に貼付けてください。
- ③既設枠に仮設置して指定寸法内になっているかを確認してください。
- ④指定寸法外やズレがある場合は、リシェント枠を外しスペーサーで再調整してください。
(t=1、2、4から適したものを使用)

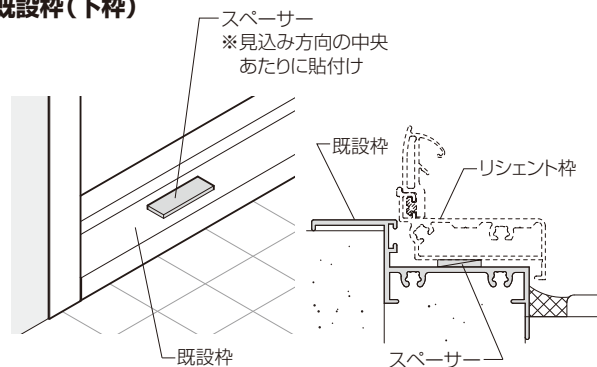
リシェント枠(上枠)



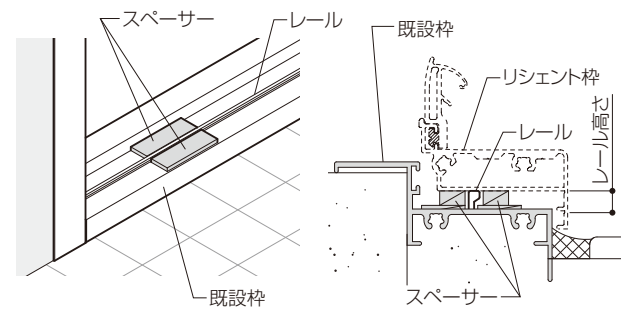
リシェント枠(左右縦枠)



既設枠(下枠)



【レールがある場合】



6 リシェント枠の取付け準備(既設枠の下穴あけ)

▲ 注意

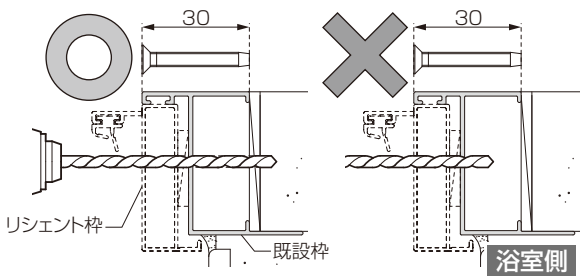


●パッキンが破損するため、穴あけはリシェント枠から直接行わないでください。漏水の原因となります。

既設枠の下穴をあける上でのお願い

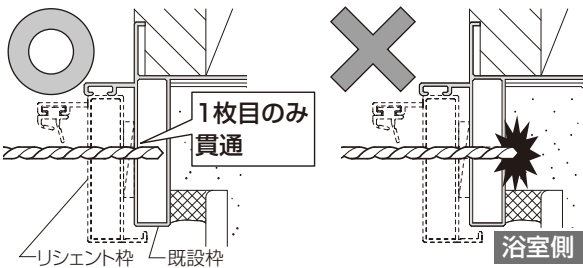
【内付けのとき】

●空回り防止のため、下穴はねじ長さより深くあけてください。



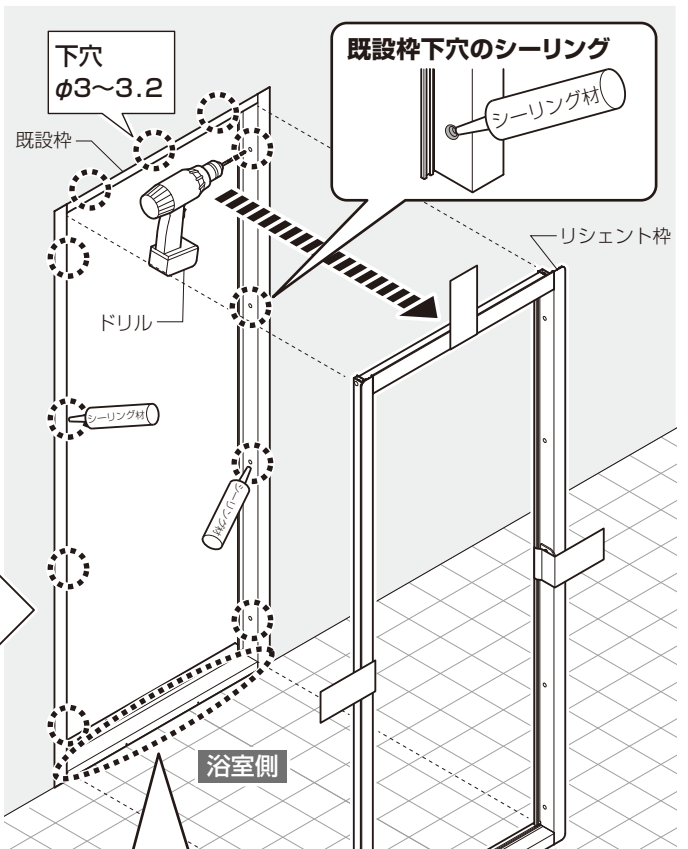
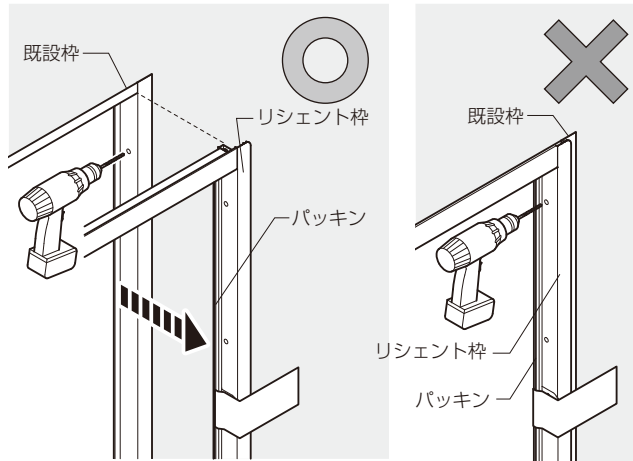
【外付けのとき】

●下穴が深いとタイルなどの破損につながりますので、下穴は既設枠1枚目のみ貫通するようにしてください。

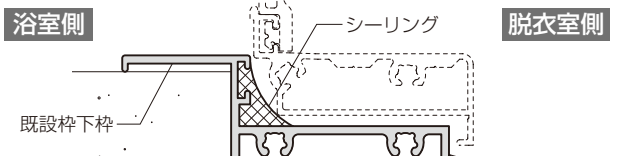


- ①リシェント枠を仮設置し、養生テープで仮止めしてください。
- ②リシェント枠のねじ穴から既設枠にけがきを入れてください。
- ③一旦リシェント枠を外して、既設枠にドリルで下穴φ3~3.2をあけてください。(下穴は、ねじの掛かりをよくするため、小さめに設定しています)
- ⑤既設枠の下枠にシーリングをしてください。(シーリング箇所詳細は下図を参照)

リシェント枠からの穴あけ禁止



下枠のシーリング



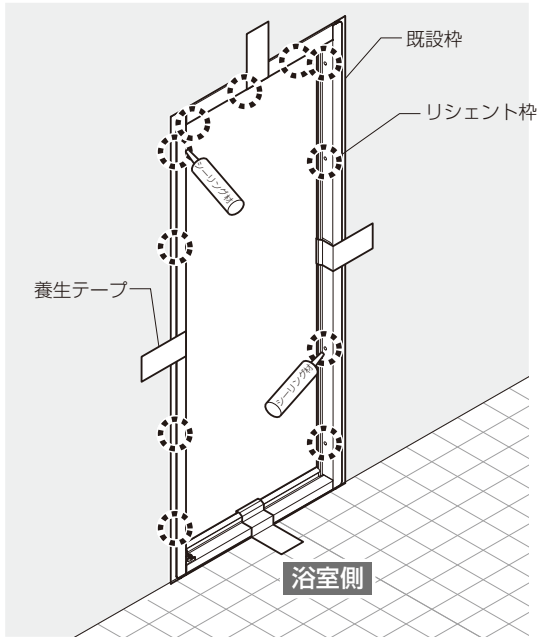
7 リシェント枠の取付け

リシェント枠の取付け上のお願ひ

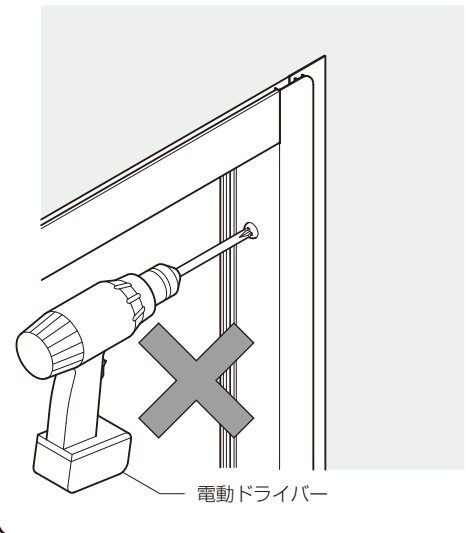
- パッキンが破損するため、パッキンを押さえながらねじ固定してください。
- 取付け不良となるため、電動ドライバーは使用せず、手締めにて指定トルクで固定してください。
(指定トルク：2.5±0.5N・m)

- ①リシェント枠を再度仮設置し、養生テープで仮止めしてください。
 - ②リシェント枠のねじ穴にシーリングをしてください。
 - ③リシェント枠を指定のねじで手締めにて固定してください。
 - ④はみ出したシーリングは拭き取ってください。
- ※ねじ長さが不足している場合は、別途長いねじを現場手配してください。

設置前のシーリング

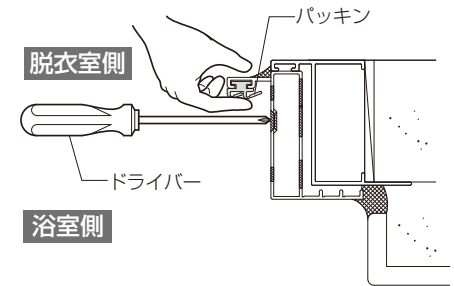


電動ドライバー禁止

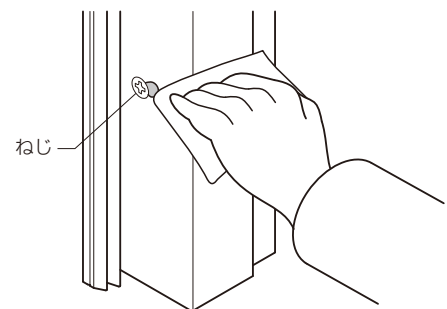


Point!

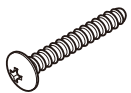
- ・指でパッキンを押さえながらねじで固定する



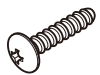
- ・はみ出したシーリング材はきれいに拭き取る



上枠：㊦
【既設枠内付け／UB】
トラスタッピンねじ M4×30



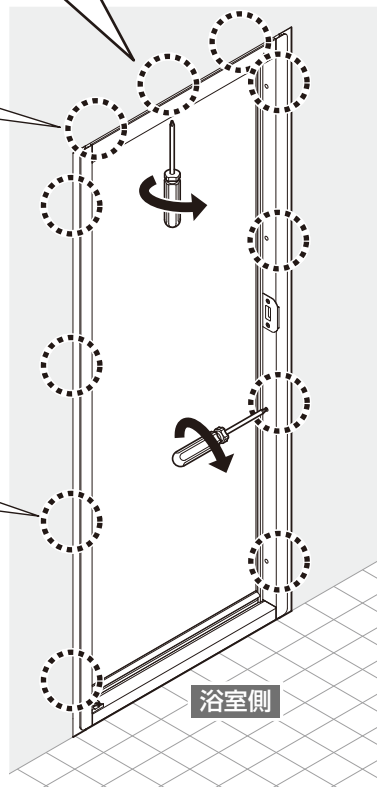
【既設枠外付け】
トラスタッピンねじ M4×20



左右縦枠：㊧
【既設枠内付け／UB】
皿タッピンねじ M4×30



【既設枠外付け】
皿タッピンねじ M4×20

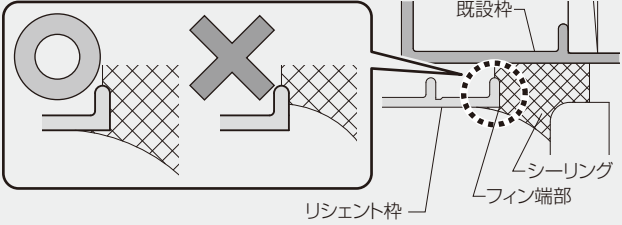


8 シーリング処理

▲ 注意



- フィン端部を覆うようにシーリングをしてください。切断部でケガをすおそれがあります。

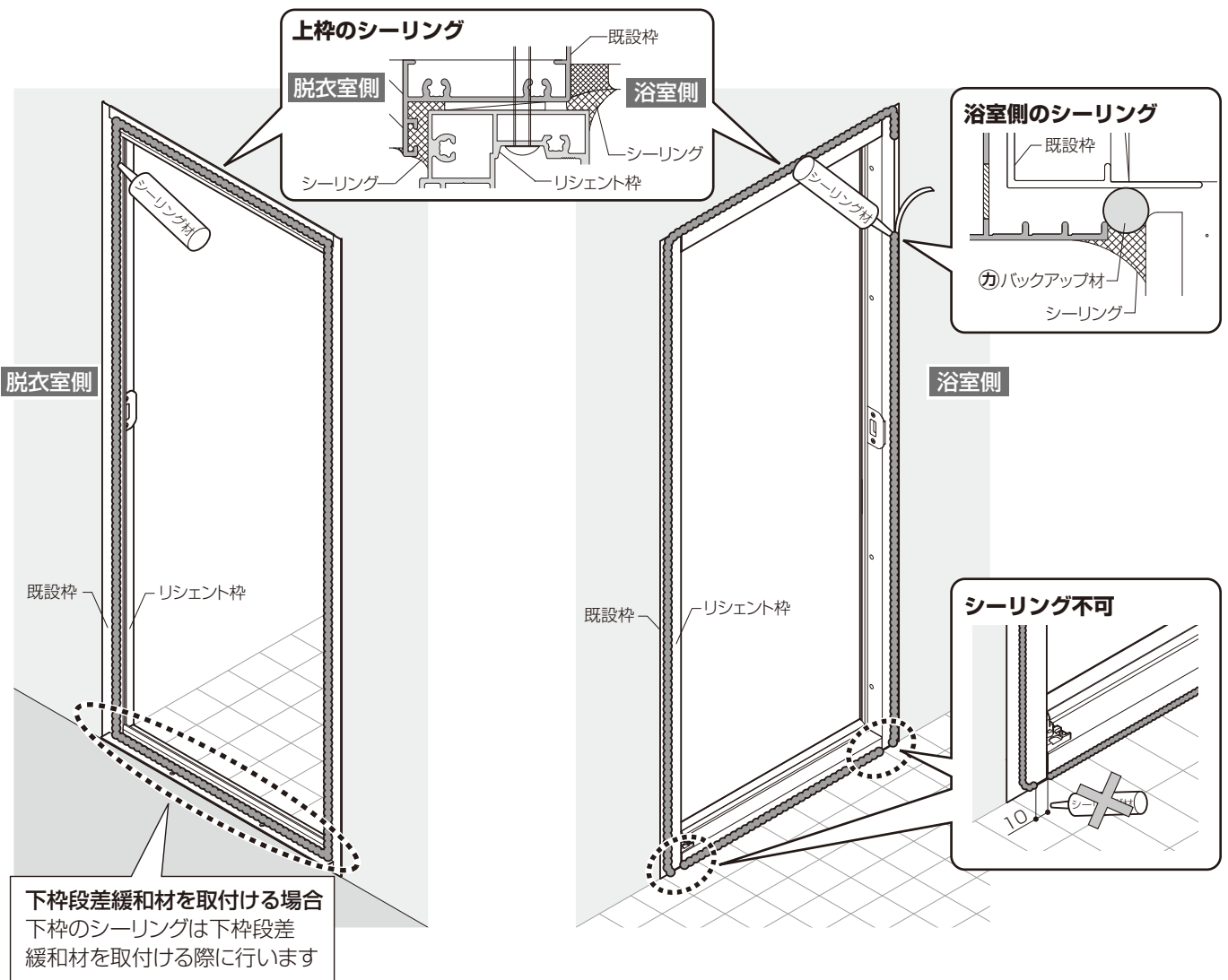


シーリング処理上のお願い

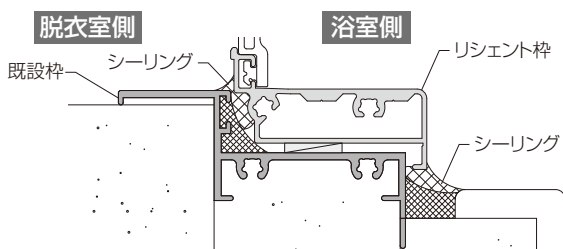
- 止水、排水性を保つため、下記事項をお守りください。
 - ・パッキンにシーリング材がつかないようにしてください。
 - ・浴室側の両下端10mmはシーリングをしないでください。
 - 下枠段差緩和材を取付ける場合、脱衣室側下枠のシーリングは下枠段差緩和材取付ける際に行います。
- ※詳細は13ページ「下枠段差緩和材を取付ける場合」を参照

浴室側と脱衣室側ともに、既設枠とリシエント枠の重なり部分にシーリングをしてください。

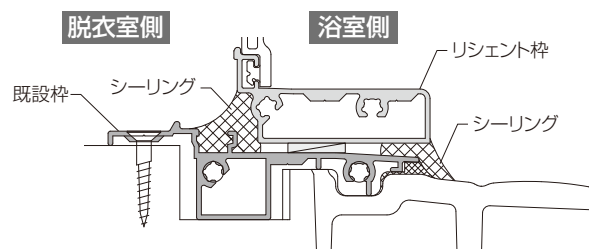
※すき間が深い場合は間にバックアップ材を入れてください。



浴室側に段差があるとき

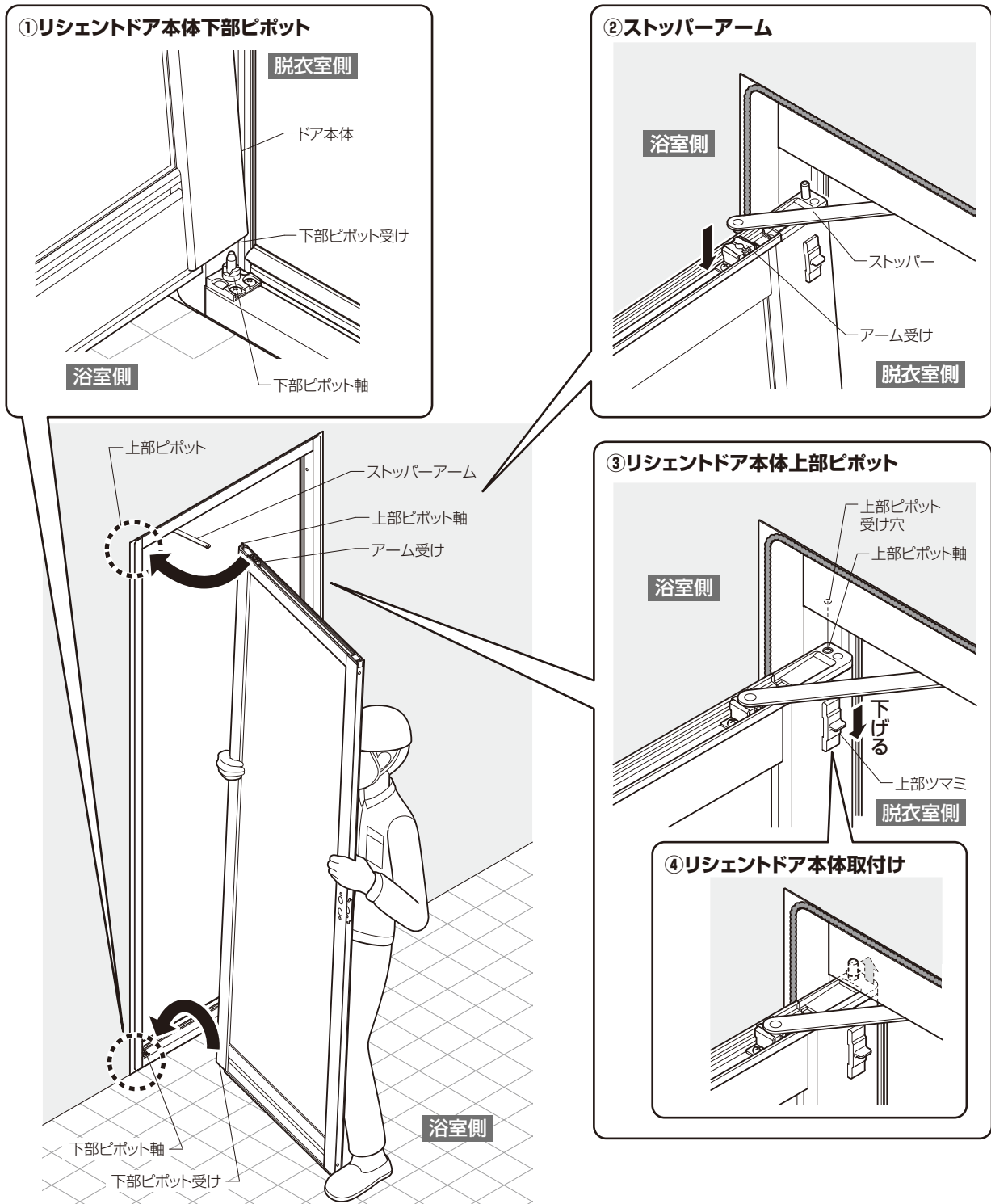


浴室側に段差がないとき



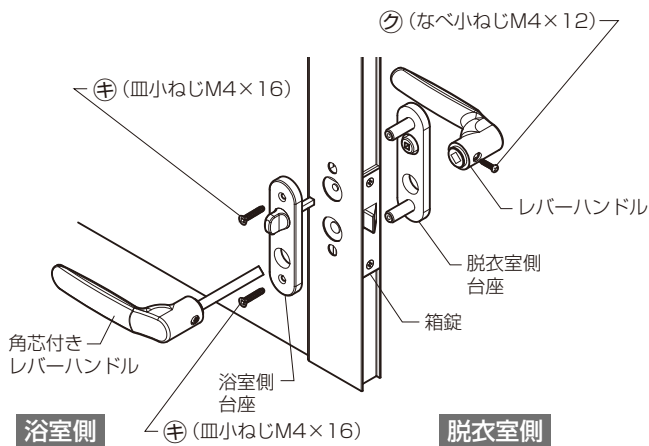
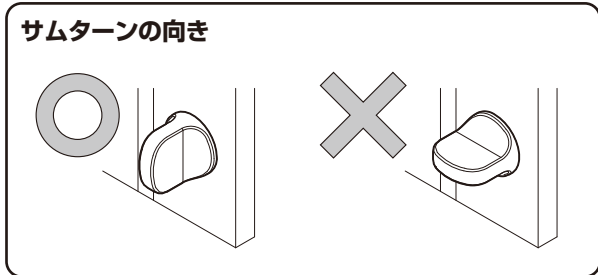
9 リシェントドア本体の吊込み

- ① 下枠の下部ピボット軸にドア本体の下部ピボットを差込んでください。
- ② ストッパーアームをドア本体のアーム受けに取付けてください。
- ③ ドア本体の上部ツマミを下げてください。
- ④ 上部ピボット軸を上枠の上部ピボット受け穴にあわせてください。(ピボット軸が上がり、セットされたことを確認してください。)



④レバーハンドル取付け

- ①脱衣室側台座を脱衣室側から差込んでください。
- ②浴室側台座を浴室側から差込んでください。
- ※このとき、サムターンのつまみは縦にしてください。
- ③浴室側から台座を指定のねじで固定してください。
- ④角芯付きレバーハンドルを浴室側から差込んでください。
- ⑤レバーハンドルを脱衣室側から差込み、指定のねじで固定してください。



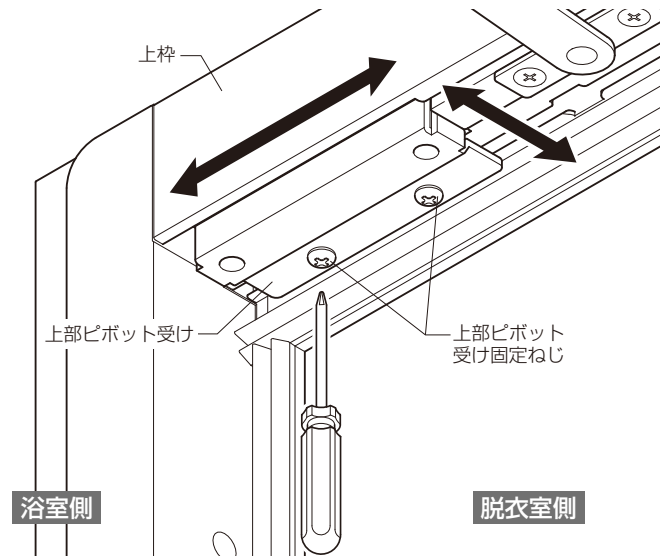
⑤建付け調整

建付け調整上のお願

- 正確にチリ調整をするため、ドア本体を取外して調整を行ってください。
- ストライク調整時、裏板が外れるため、固定ねじを完全に外さないでください。

【ドア本体と枠のチリ調整方法】

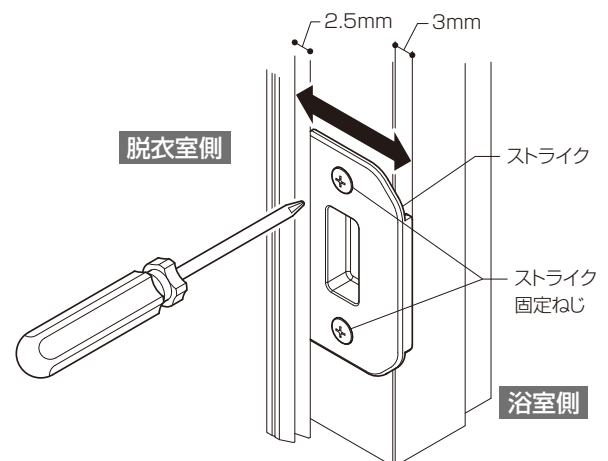
上枠吊元の上部ピボット受け固定ねじを緩め、前後左右に動かし調整してください。



【ストライクの調整】

ストライク固定ねじを緩め、ストライクを前後に動かし調整してください。

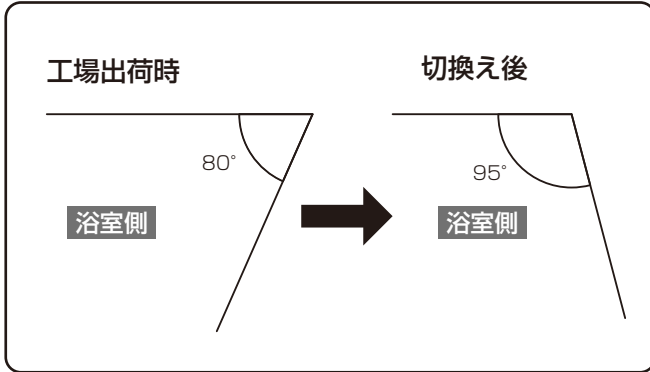
(浴室側に3mm、脱衣室側に2.5mm調整可能)



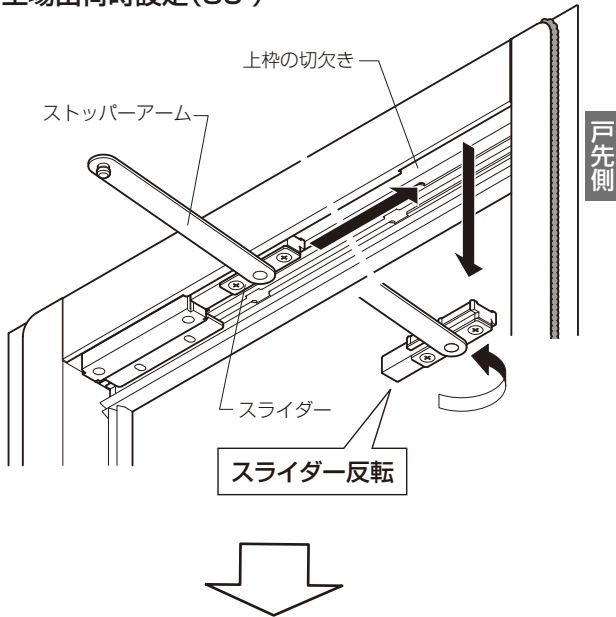
以上で、取付け作業は完了となります。

■開閉角度を切替える場合

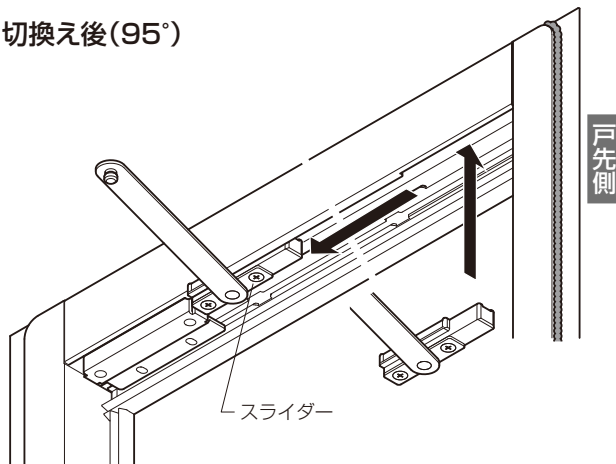
- ①ドア本体を枠から外してください。
- ②ストッパーアームを戸先側へスライドし、切欠きから外してください。
- ③スライダの向きを反転させ、上記と逆の手順で取付けてください。
- ④開閉角度を80°⇒95°に切替えます。



工場出荷時設定(80°)

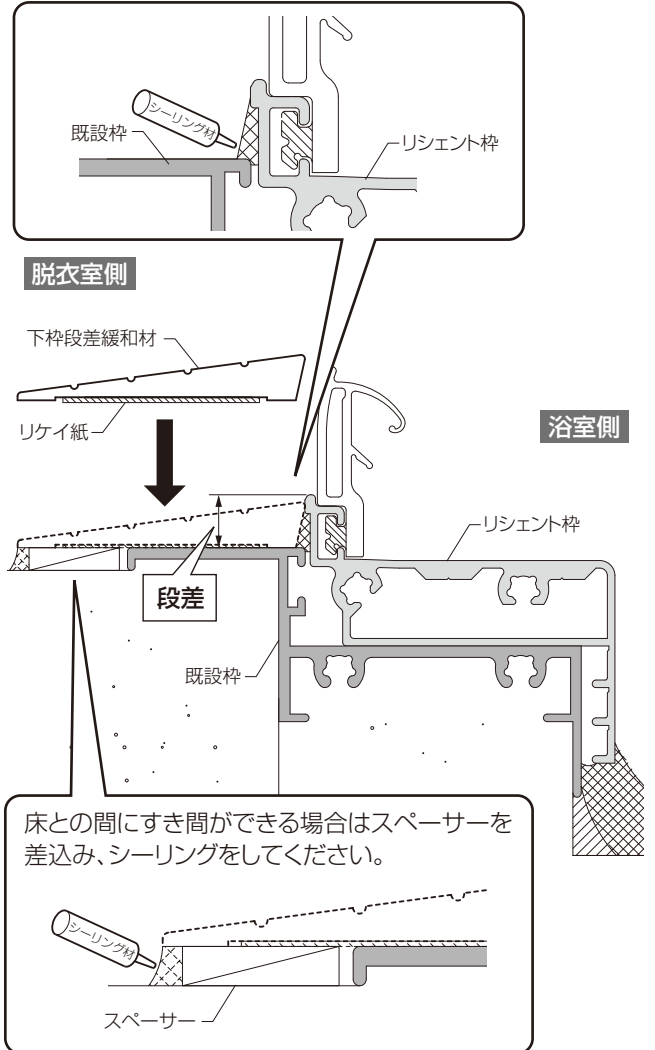


切換え後(95°)



■下枠段差緩和材を取付ける場合

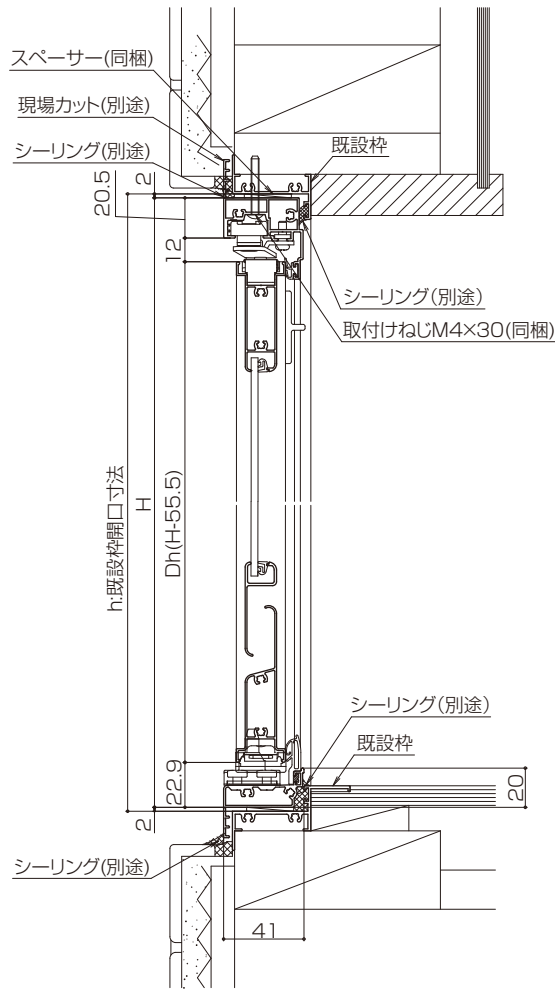
- ①下枠段差緩和材を現場の納まりに合わせて切詰めてください。
- ②段差部分にシーリングをしてください。
- ③両面テープのリケイ紙をはがし、床に強く押付けて圧着してください。



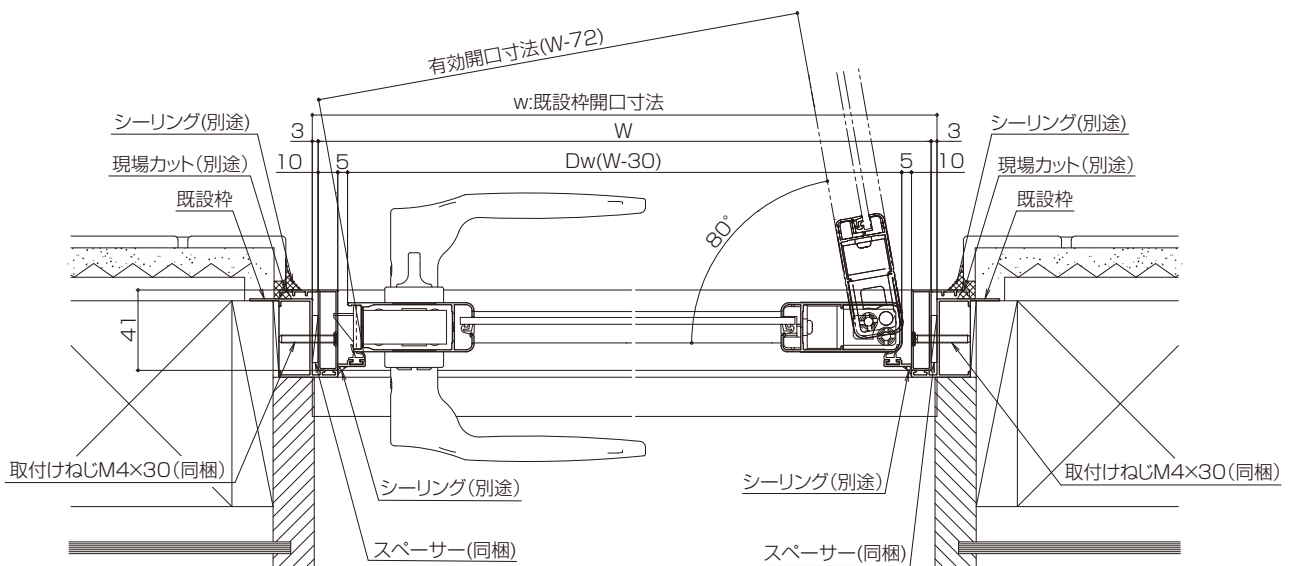
■納まり参考図

既設枠 内付け納まり

【縦断面図】



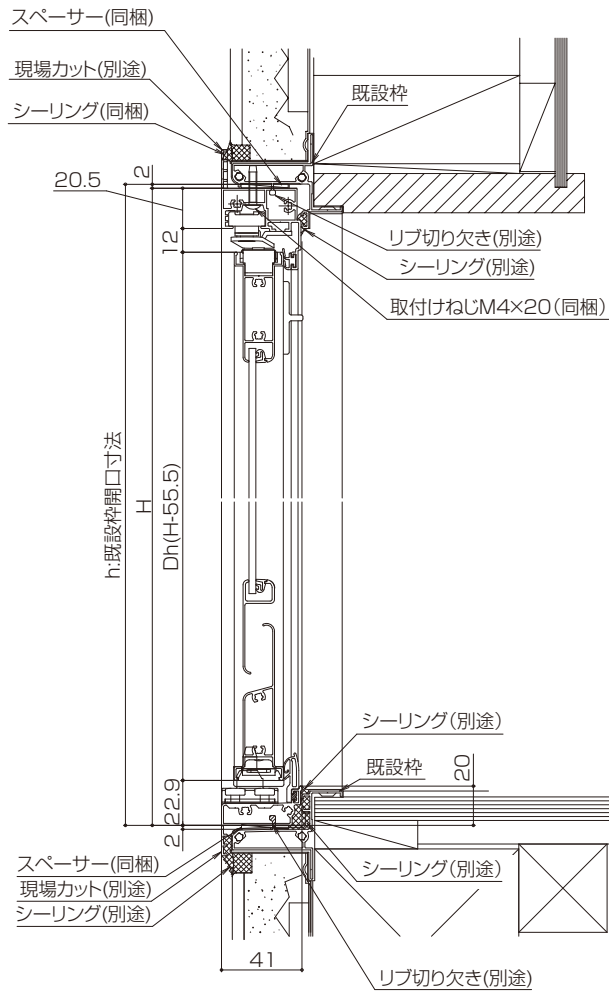
【横断面図】



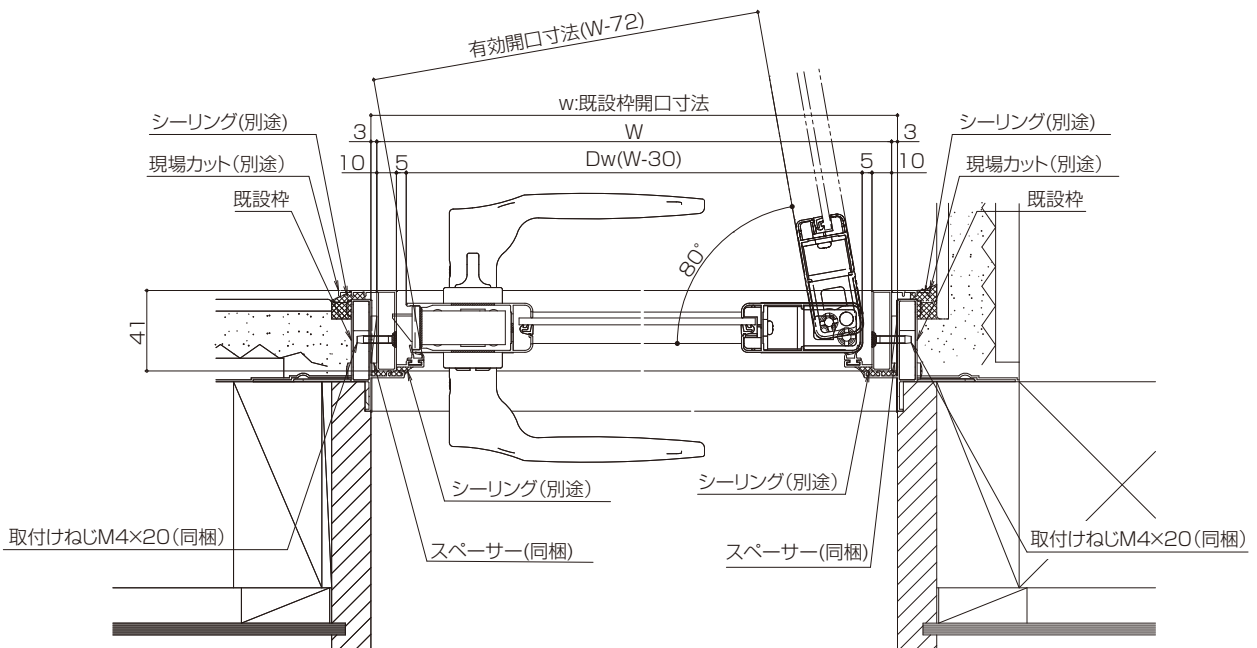
■納まり参考図

既設枠 外付け納まり

【縦断面図】



【横断面図】



MEMO
